

# 熊本市におけるICT活用とその成果

教育情報室

## 熊本市のICT環境

2018年9月より熊本市立の全小中学校へ  
iPadや電子黒板などの整備を開始

### iPad 23,460台

3クラスに1クラス分  
先生一人に1台  
特別支援学級1人1台



### 電子黒板

普通教室へ常設



2,400台

### 実物投影装置

普通教室へ常設



## 2018年度

先行導入校研修  
8月16日～8月31日  
小学校 16校  
中学校 8校  
合計24校

先行導入校  
9月運用開始

小学校導入研修  
1月8日～2月25日  
小学校 76校

## 2019年度

小学校導入校  
4月運用開始

中学校導入研修  
11月～12月  
中学校 34校

## 2020年度

中学校導入校  
4月運用開始

学習者用コンピュータ

3クラスに  
1クラス分

児童生徒用

指導者用コンピュータ

1人1台

教員用

市内全小中学校で配備完了



### 【導入初期】

(1) 写真や動画による学び合い



(2) カード等による子供たちの考えの共有化



### 【導入中期】

(3) 自分の考えのOUTPUTと伝え合い



(4) グループでのまとめと伝え合い



### 【導入後期】

(5) 思考ツールを使った思考の見える化



(6) クリエーティブな制作と発表をとおした深い学び\*朗読にBGMを挿入



## 【授業スタイルの変化】



昨年7月

一律一斉一方向の授業形態から、主体的対話的な授業へ



今年5月

同じクラスの授業風景



【新たな学びへ】  
学びたいと思える問いや課題がある  
学び合うことで新たな学びが生まれる  
言語化された振り返りで学びが定着する



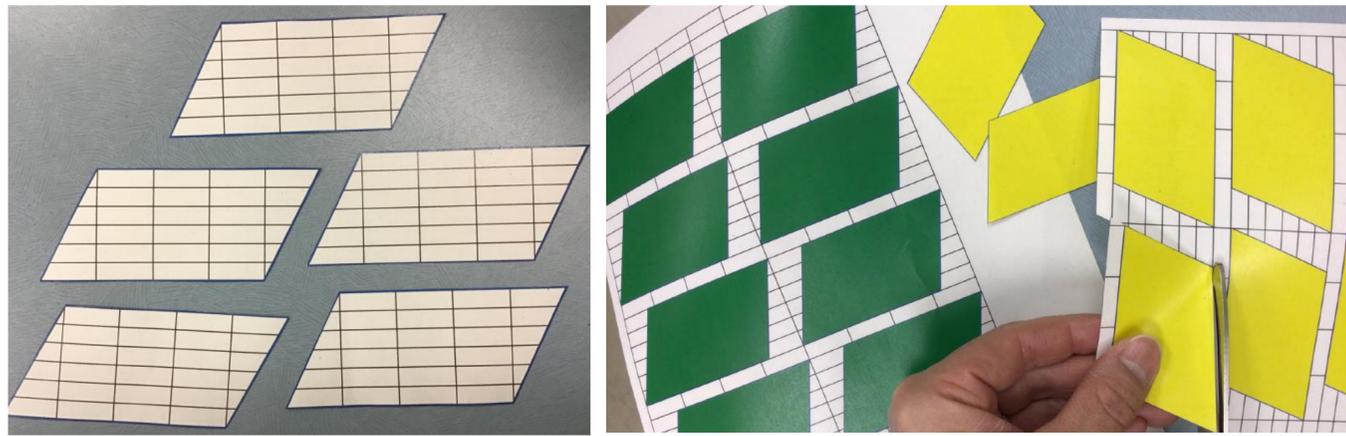
**個人配布の教師用タブレット端末  
対話的 アクティブ アウトプット**

(教材研究・教材作成等の準備期間の短縮化)

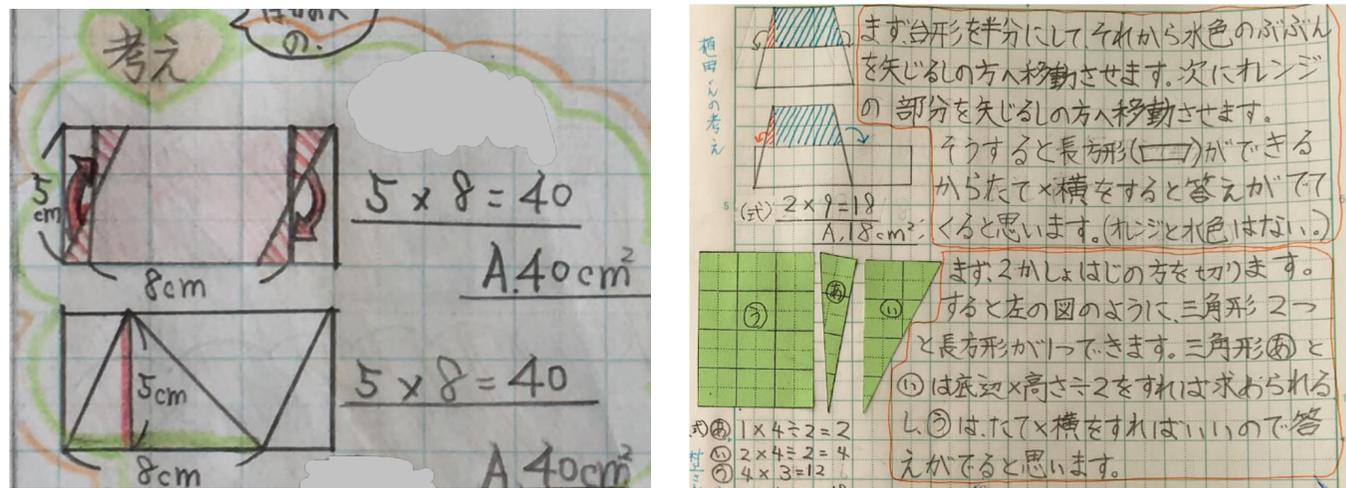
〈これまでの教材準備と児童のノート〉

作成、印刷、切り取り、人数分の作業

少なくとも3~4時間必要

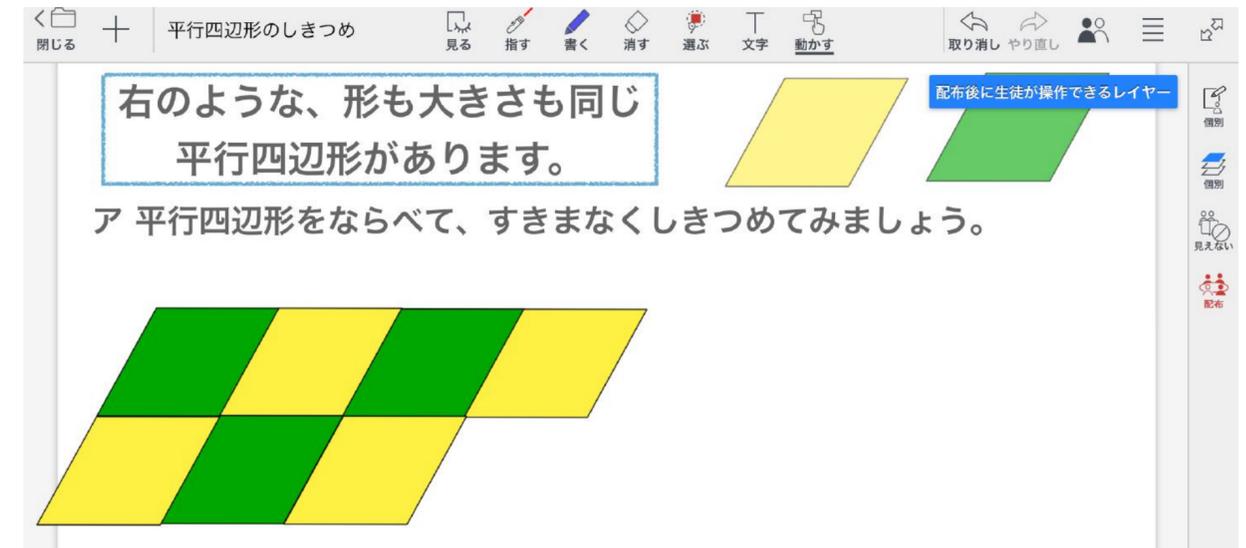


図形の手書きや、配布された紙の図形の切り貼り作業に時間がかかる(先生と同じ図をかく時間)

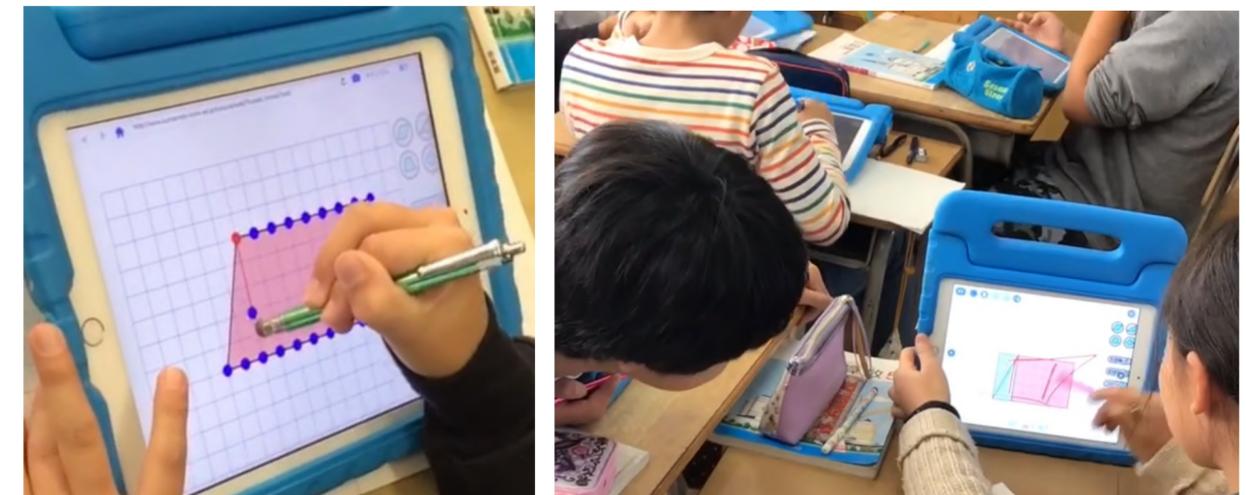


〈タブレット活用〉

10分で教材作成

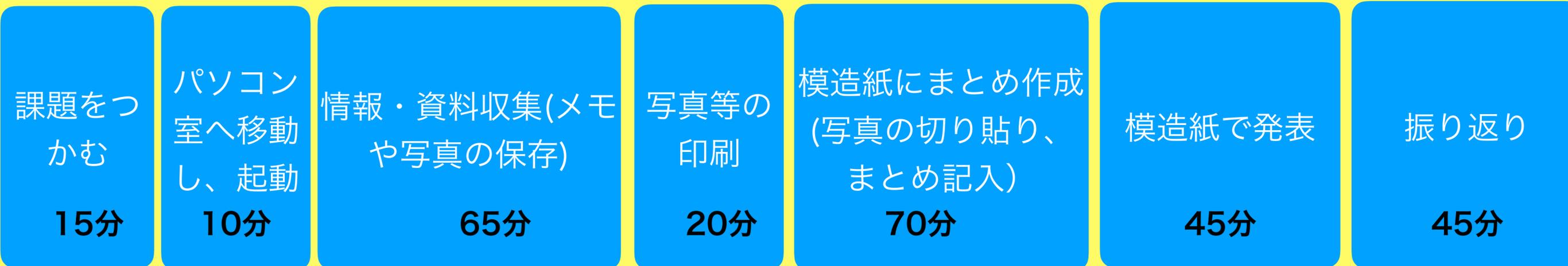


教材を配信→すぐに思考、学び合いへ



# 探求型学習における時短効果(各教科調べ学習時の時間削減) スライド10

## ●これまでの学習過程(紙媒体使用)

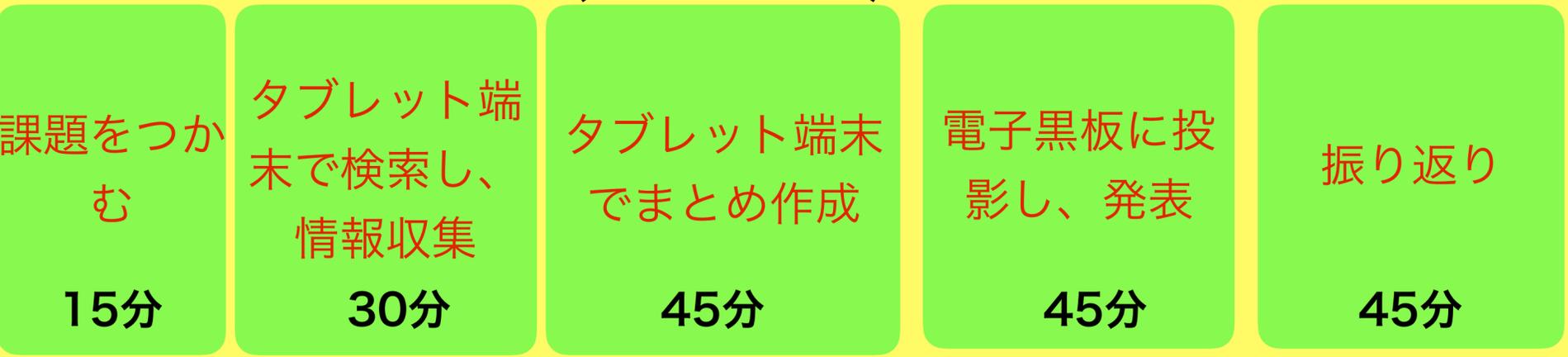


6時間



2時間  
短縮

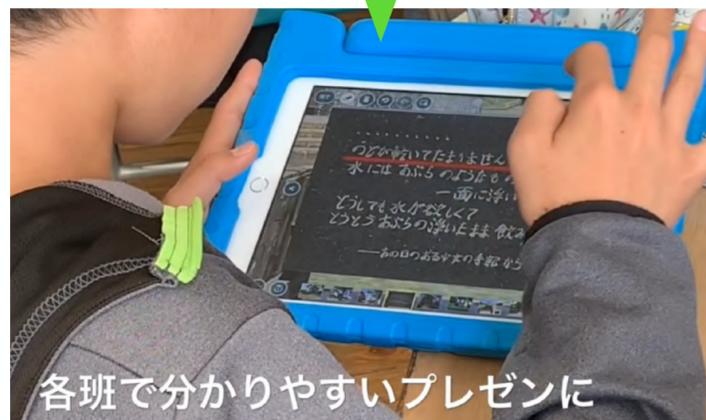
## ●現在の学習過程(ICT活用)



4時間

(LTEタブレット端末のため、場所を選ばず活用可能)

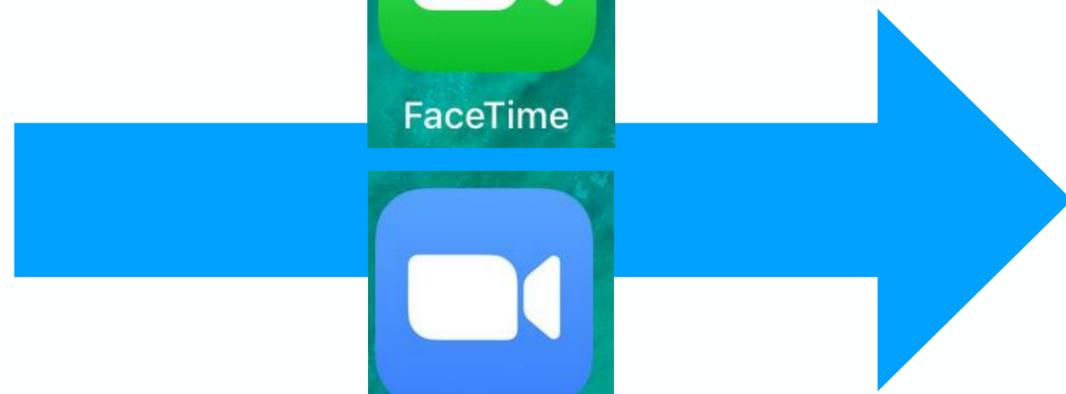
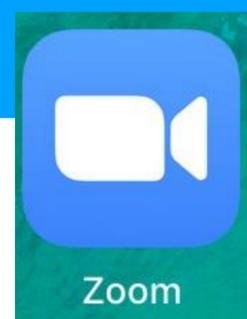
現地で取材し、宿泊施設にて情報の整理



学校に戻ってまとめ



## 修学旅行先から学校へ



現地で見学している3年生から、FaceTimeやZoomでつないで学校にいる下級生へリアルタイムで情報共有